

# 第109期株主通信

2020年4月1日－2021年3月31日

# 小松マテール株式会社

証券コード 3580





### 守りから攻めへ。新たな高みを目指して さらなる挑戦へ“全集中”。

日頃の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。  
この1年は、新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化により、国内・海外とも消費マインドの低下と購買志向の変化が見られ、企業収益は大きな影響を受けました。自粛要請などが続き、先行き不透明な状況が続く中、当社グループではこの機に生産性を高め徹底的なコスト削減に取り組むとともに、先を見据えながら不採算事業に対する抜本的な対策を実行しました。また、店頭での小売りが低迷する中、EC事業(BtoC)にも挑戦しました。今後はコロナ後を見据えて、新しい市場ニーズに適応すべく技術開発力を磨き、変化が加速する時代に耐えうる企業体質の強化に取り組みます。引き続き、株主の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2021年6月  
代表取締役社長

A handwritten signature in black ink, reading "佐々木 久衛" (Sasaki Kenji).

## 経営環境と当期の業績

**Q1** コロナ禍が長期化しています。どのような1年だったでしょうか。

**佐々木**：コロナに始まり、コロナで終わった1年でした。世界的な感染拡大により、海外では主要顧客が多い欧米においてロックダウンや大規模イベントの制限、国内でも、これまで4度のコロナ感染拡大と3回の非常事態宣言が発令される状況下で、購買マインド低下もさることながら販売活動の制約も受け、受注獲得に苦勞の多い年となりました。

その間、アパレル業界はコロナ禍による巣ごもりの生活様式変化に合

わせた新たな素材・ウェアが売れ筋となるなど購買志向の変化が起きました。また、店頭販売が総じて低調であった中で、ECは場所・時間を問わない利便性から、店頭販売を補完する役割も果たしながら成長が加速した年になりました。

総じて衣料販売が低調な中で、明確なコンセプトをもとに高品質で適価な商品を提供する一部のSPAで業績を伸ばしたことは、今後の業界の方向を示唆する動きと言えます。

**Q2** 小松マテーレの業績への影響はいかがでしたか。

**佐々木**：このような事業環境の下、当期は減収減益を強いられ、前期と

比べると売上高で17.8%減、営業利益で12.1%減となりましたが、当期純利益は31.6%増加しました。

売上高の減収はコロナ感染拡大による影響に加えて、昨年、経営で決断した小松精練（蘇州）有限公司の生産活動を停止したことによる売上減少も含まれています。中国の現地政府から土地活用計画の変更による移転要請を受けたことを機に、将来を見据えて、不採算事業となっていた該社を清算し、新たに販売会社として設立した小松美特料（蘇州）貿易有限公司に事業を移管・継承する抜本的な対策を実行しました。会社清算は、営業利益面では減益要因となりましたが、資産売却で土地価格の

## ハイライト

### 2021年3月期業績

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| 売上高                 | 30,018百万円 |
| 営業利益                | 1,416百万円  |
| 経常利益                | 1,916百万円  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,810百万円  |

### 会社の対処すべき課題

- ① 先端技術を活かした新たな価値の創造
- ② 持続可能な社会の実現に向けた取り組み
- ③ B to C モデルの本格運用および情報発信力の強化
- ④ 海外市場・非衣料分野の強化
- ⑤ 生産性向上およびトータルコスト削減に向けた取り組み

値上がり益が特益として計上できたことから、当期純利益は前期比31.6%増加しました。

事業区分別では、コア事業であるファブリック事業の落ち込みがありました。マスクなどの感染症対策商品のネット販売に挑戦し、収益性の高い製品事業を拡大し、利益面の落ち込みの一部はカバーできました。また、全社一丸となって取り組んだ生産性向上を基本としたトータルコスト削減も確かな成果につながり、収益の底上げに大きく貢献し、営業利益の減少幅を最小限に留められました。

苦境下で実行したこれらの施策は、事業構造やコスト力の面で確かな手ごたえを感じています。企業体質は着実に変わりつつあります。

### 社会の変化にどう応えたか

**Q3** 技術開発にも力を注ぎ、成果につながったようですね。

**佐々木**：2~3年ほど前から東芝マテリアル様と共同で酸化タングステンの光触媒技術を用いた新素材の開発を行ってきました。ウイルスの感染力を低減する効果を確認したため、マ

スクインナーやマスクに適用した商品開発を急ぎ、業界初の抗ウイルス加工商品として上市し、大きな反響を呼びました。ECサイトも活用して販売を伸ばし、収益面に寄与しました。

現在、「エアロテクノ」としてさらに性能を向上させ、新型コロナウイルスに対して2時間で99.9%の感染能力の低減効果を確認するとともに、新たなバリエーションを加えて展開中です。今後は医療介護、インテリア資材、ユニフォームや一般衣料への用途展開を進め、エアロテクノ商品群を拡大していきます。

当社は、短時間で染色を可能とする画期的な速染技術（糸と染色技術）を確立し、実用化を開始しました。低エネルギーで染色が可能な環境エコ素材技術として適用範囲を拡大する計画です。また、ポリエステル綿混素材に対して洗濯耐久性に優れる高い吸水速乾性を付与した機能素材「ポリバ」を開発し、洗濯乾燥時間を大幅に短縮できる環境エコ商品として上市しました。今後も環境に貢献する新素材・新技術の開発を充実してまいります。技術開発活動の強化の結果として、特許出願数は前期10件に対して当期は30件と大幅に増加しました。

**Q4** 営業活動が制約を受ける中、「LIVE動画配信(ウェビナー)」によるWEB配信が注目されていますが。

**佐々木**：対面商談や展示会が大きな制約を受けました。集客型の展示会に代えて、YouTubeを活用したLIVE動画によるセミナー形式で技術・商品を紹介する配信を計6回開催しました。高品質な画像を提供するため、その要求に耐える映像機器や安定した通信回線を備えたスタジオを社内に設置しました。

また、当社の売れ筋商品や新商品を24時間閲覧可能な「デジタルファブリックショールーム」もWEB上に開設します。海外顧客への販促を念頭に英語版を併設する予定です。

ニューノーマル時代に備えて、在宅勤務者の業務環境や、社内外との円滑な遠隔コミュニケーションを支える通信・システム環境の整備も着実に進めています。

### 次の飛躍に備えて

**Q5** コロナ後にどう対処するか、今後の構想をお聞かせください。

**佐々木**：コロナ禍は地球環境に目を



向けさせる契機となり、環境問題解決の動きが一気に加速しました。企業が果たすべき役割として、環境保全の活動とともに、製品・事業を通じた環境貢献が、ますます重要になっています。

当社は、「小松マテール・サステナビリティ・ビジョン（2030年に向けた行動目標）」を策定し、本年度から社内外にも発信し、取り組みを本格化します。このプログラムには環境課題に加え、防災・減災、地域貢献と社員の成長という行動目標も設定しました。当社版のSDGs(Sustainable Development Goals:2030年をゴールとする持続可能な開発目標)と位置づけています。

現在、当社は①先端技術を活かした新たな価値の創造、②持続可能な社会の実現に向けた取り組み、③BtoCモデルの本格運用および情報発信力の強化、④海外市場・非衣料分野の強化、⑤生産性向上およびトータルコスト削減に向けた取り組み、の5つの重点課題に取り組んでいます。

なかでも1つ目の「先端技術を活かした新たな価値の創造」は、当社が得意としてきた染色技術のみなら

ず、高度機能加工や炭素繊維複合材料開発などの先端技術を活かし、積極的に用途開拓を図り、新たな価値を創出する形で事業を拡大しようとするものです。

2つ目の「持続可能な社会の実現に向けた取り組み」は、先の環境課題への取り組みの中で、環境にやさしい素材の開発を継続し、環境負荷低減に努め、環境に貢献する事業として推進する計画です。

今後、地球環境の課題解決に繋がる技術開発を強化するため、この度、技術開発本部内に「環境・バイオ技術開発部」を新設しました。環境を通じて社会に役立つ企業を目指します。

### 株主様とともに

**Q6** 昨年10月に自己株式取得を発表しました。どのような狙いがありますか。

**佐々木：**当社は多くのステークホルダー(利害関係者)によって支えられています。なかでも資金の出資者である株主様には事業活動から生



まれる成果を適切に還元する責務があると考えています。

この度の自己株式取得は、配当対象株式数を減らすことで、一株当たりの純利益と資産価値を高め、株価および配当を底上げすることが狙いです。当期の通期配当は1円の増配とし、1株当たり年間16円の配当としました。

当社は、今後も、配当性向30～50%を目安とし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としてまいります。

株主の皆様には、くれぐれも健康にご留意いただくとともに、引き続き小松マテールをご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

## 新しい商品・技術の情報発信に「studio fa-bo (スタジオ ファーボ)」が大活躍



新しい時代に必要の情報発信拠点として、ファブリック・ラボラトリー「fa-bo」の3Fに誕生した「studio fa-bo (スタジオ ファーボ)」。

デジタル配信「ウェビナー」では、全体の企画から当日の配信まで、社員が中心となり行っています。当社技術を視聴者へわかりやすく伝えるため、実験VTRも加えるなど回を重ねるごとに内容を充実させてきました。また、

チャット機能を使用した視聴者との質疑応答でコミュニケーションを図りました。今後は、海外への発信も視野に入れ、さらなるコンテンツの充実を図るべく、日々試行錯誤を繰り返していきます。

これまでの配信は、当社公式YouTube「チャンネルkomatsumatere」にてご覧いただけます。



動画はこちらから

## 小松マテレの「今と未来」が体感できる多目的スペース「mono-bo (モノーボ)」がオープン



旧ファッションセンターが生まれ変わり、オリジナルショップ「mate-pla (マテプラ)」、ワークショップ「mate-labo(マテラボ)」、カフェスペース「mate-café (マテカフェ)」の3つのゾーンが楽しめる、多目的スペース「mono-bo (モノーボ)」がオープンしました。

エコやサステナブルへの関心が高まる中、当社では製造工程で出る端材に高

次加工を加えた「アップサイクル」にも着目。「マテプラ」では、さらに当社独自の加工技術を用いた素材の特性を最大限に生かしたオリジナル商品をお客様に提案し、テキスタイルの魅力や可能性を発信します。また、「マテラボ」では、小さなお子様から大人まで楽しめるワークショップを企画中。商品が生まれる過程の「企画する、縫う、染める、実際に使ってみる」を体験できます。

皆さま是非お越しください!



【商品販売部】

瀬川陽子

下川奈月

中橋育美

## アーティスト三浦大知さんとのコラボにより、オリジナルマスクを企画・販売



三浦大知さんとのコラボレーション企画・第一弾としてオリジナルマスクを発売しました。この企画は、三浦さん愛用のTシャツが当社の加工生地とわかり、ファンへ発信したのがきっかけ。今回、発表した「エアロテクノ」を搭載したマスクは、三浦さんがこだわり抜いたネイビー、ホワイト、カーキの3色に、オリジナルの織りネームがつけられ、オフィシャルファンクラブ「大知識」と、所属する「ライジングプロダクション」の公式オンラインストアで限定発売されています。



三浦大知：1987年8月24日生まれ、沖縄県出身。Folderのメインボーカルとして1997年にデビュー。2005年3月にシングル「Keep It Go'in' On」でソロ・デビュー。天性の歌声とリズム感、抜群の歌唱力と世界水準のダンスで人々を魅了し、コレオグラフィやソングライティング、楽器も操るスーパーエンターティナーです。（「MIURA DAICHI (三浦大知) OFFICIAL WEBSITE」より）

## 軽くて消毒いらず!ウイルスの飛沫を防ぐパーティションを発売

PPSA  
受験時の  
採用例



PPSA  
卓上タイプ  
使用例

坂 茂：建築家。1957年東京生まれ。84年米クーバーユニオン建築学部卒業。85年に坂茂建築設計を設立。95年に建築面での被災地支援を行う「ボランティア・アーキテクツ・ネットワーク (VAN)」を設立。2014年に建築分野の国際的な賞であるプリツカー賞、フランス芸術文化勲章コマンドゥール、17年に紫綬褒章を受章。現在、慶應義塾大学環境情報学部教授。

日本を代表する建築家・坂 茂氏が開発した避難所向けパーティションシステム『PPS (Paper Partition System)』を基点として、抗ウイルス加工素材「エアロテクノ」を用いた簡易組み立て型 (約5分で組み立て可能) のパーティション「PPSA<sup>※1</sup>」を共同開発しました。

コロナ禍において、「PPSA」は学生が集う受験会場や図書館などの共有スペースだけでなく、新型コロナウイルスのワクチン接種会場などでも採用されています。また、使用後の面倒なふき取り作業が不要な他、軽量で通気性があり、正面の相手の声が聞き取りやすい「PPSA (卓上タイプ)」を開発し、販売を開始しています。今後、飲食店や学校だけでなく、企業の食堂など幅広い需要が見込まれます。

※1) "Paper Partition System with Aerotechno"の略。

設置空間に合  
わせてレイア  
ウトも自在!

【技術開発部】  
【高機能G】  
米田のどか

## セグメント別の概況

衣料ファブリック部門

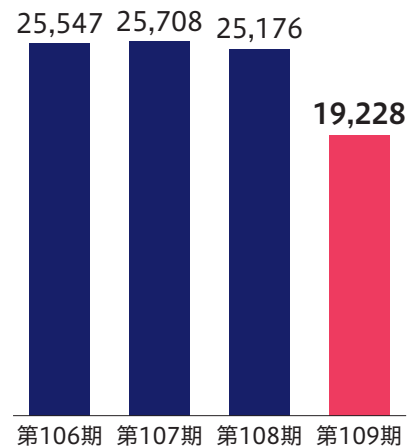
売上高

19,228百万円

前期比 23.6%減

衣料ファブリック部門は、国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。ファッション及びスポーツの両分野において国内は減収となり、海外においても欧州向けアッパーミドルのみならずラグジュアリーが落ち込む結果となり、総じて減収となりました。一方、中東向けの民族衣装は計画通り、順調に推移し増収となりましたが、当部門全体では減収となりました。

(単位:百万円)



東レグループ開発の希少素材「キマイラ スキン®」を使用したコートにガーメントダイ(製品染め)が採用



UNITED ARROWS & SONS  
by DAISUKE OBANA(メンズジャケット)に採用



デサントジャパン(株) オルテラインに採用



デサントジャパン(株) オルテラインに採用



## 資材ファブリック部門

売上高

8,476百万円

前期比 14.5%減

資材ファブリック部門は、車輻分野は需要の持ち直しから、計画通りに推移しました。

(単位:百万円)

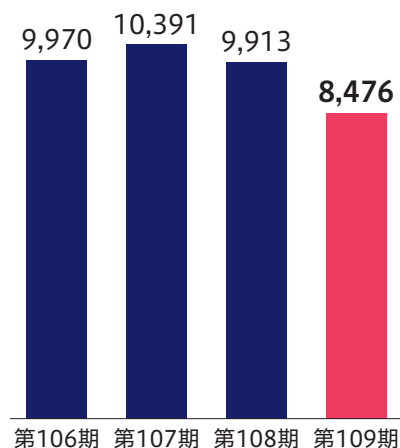
しかしながら、北米向けオーディオ機器等については新型コロナウイルス感染症の影響により受注が落ち込んだ結果、減収となりました。医療・福祉のメディカル分野、生活関連資材分野及び、カーテンをはじめとするリビング分野におきましても、消費が停滞したことから減収となったため、当部門全体としては減収となりました。



エプロンルーフの屋根材に採用

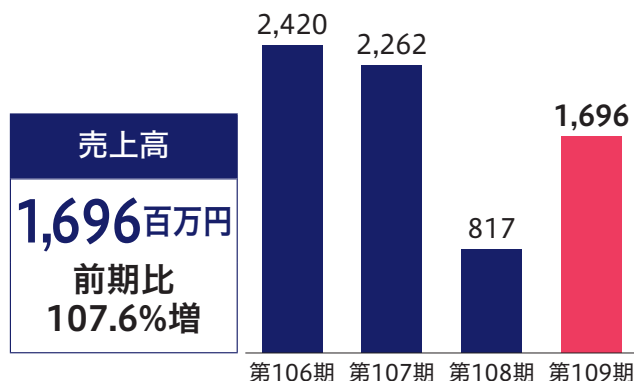


小松市民病院 発熱外来待合室にPPSAが採用



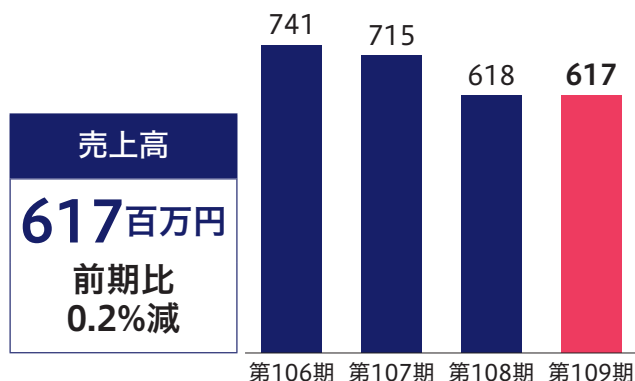
## 製品部門

(単位:百万円)



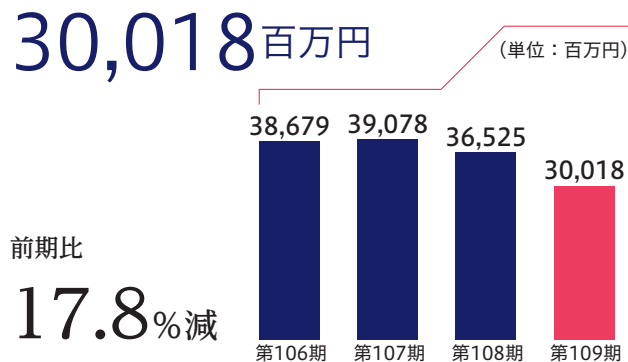
## 物流物販事業

(単位:百万円)

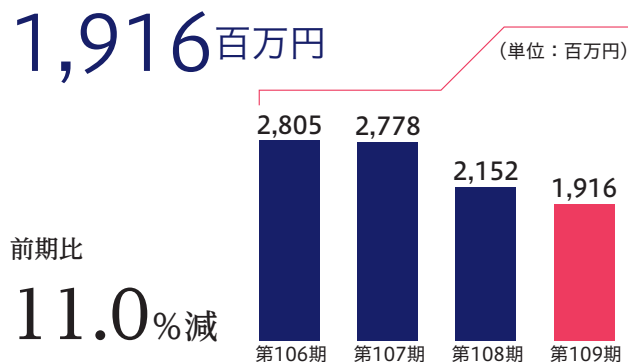


# 財務ハイライト

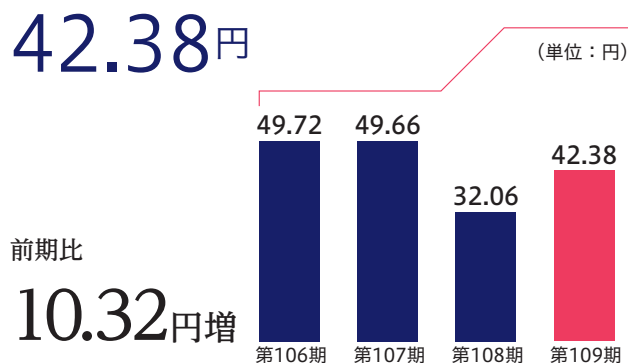
## 売上高



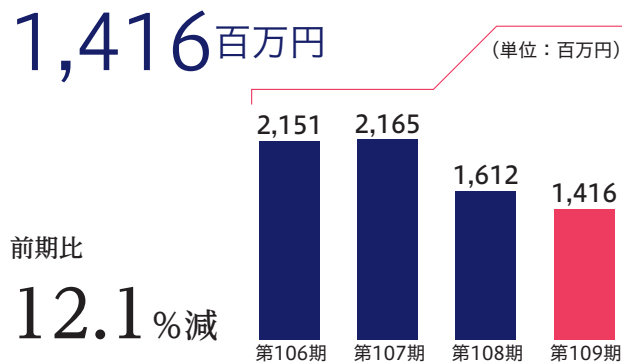
## 経常利益



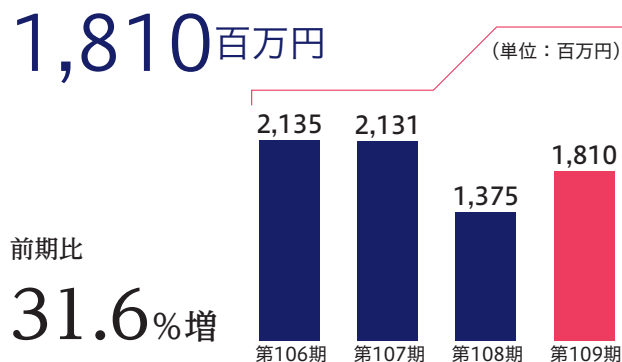
## 1株当たり当期純利益



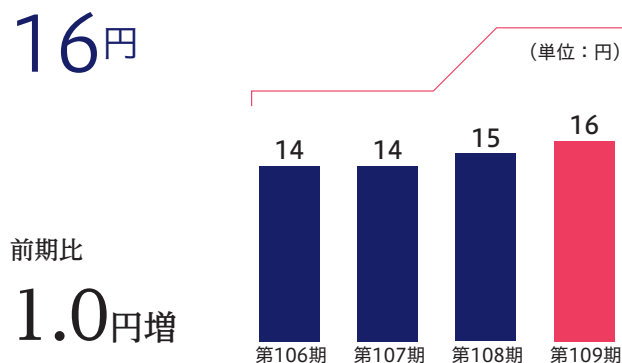
## 営業利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益

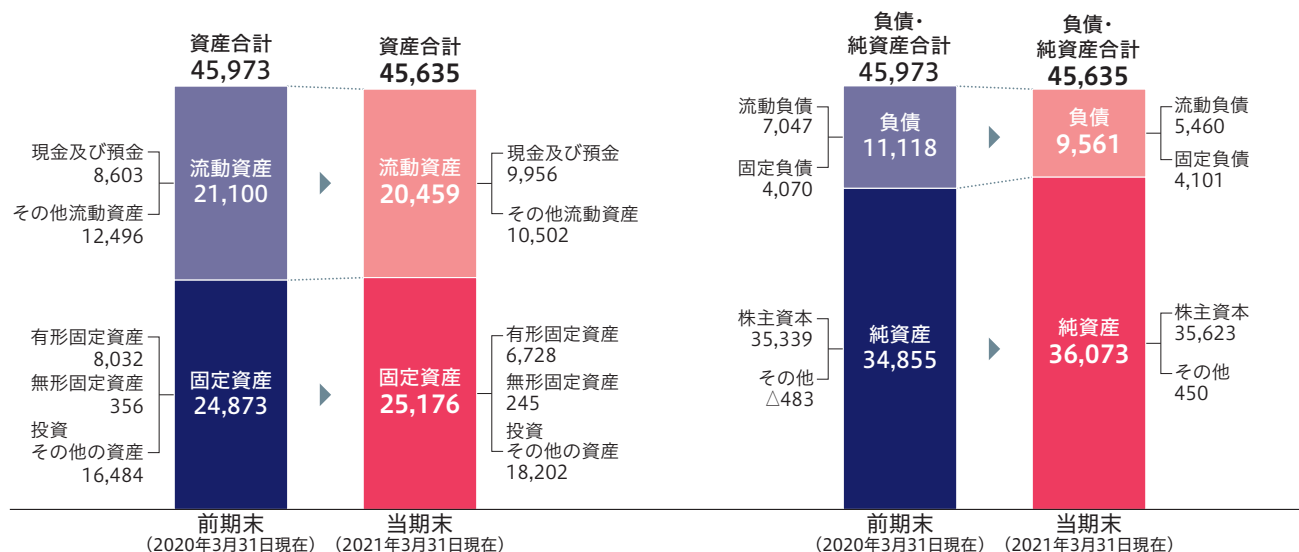


## 1株当たり年間配当金

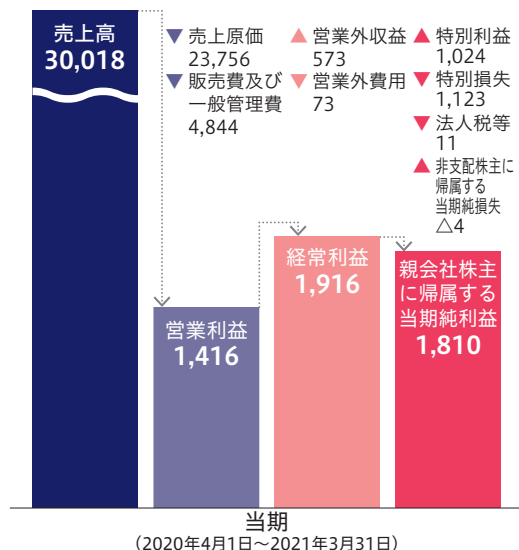


# 連結決算概要

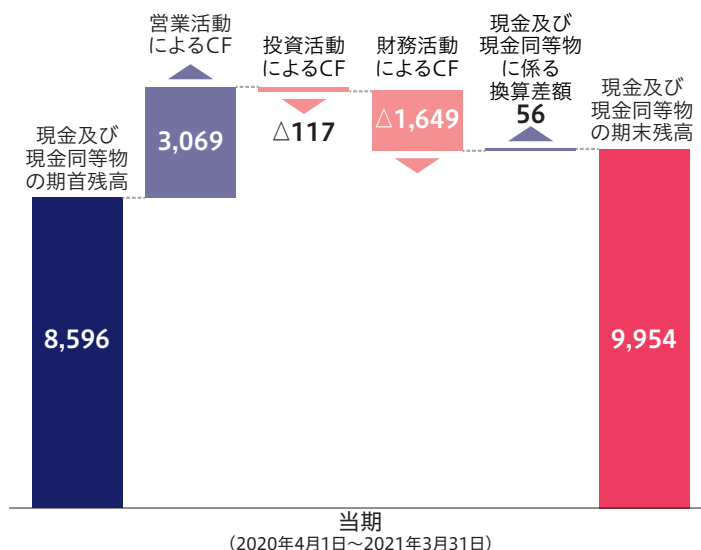
## 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



## 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



# 株式情報

|             |        |
|-------------|--------|
| 発行済株式総数     | 株主数    |
| 43,140,999株 | 4,777名 |

## 所有者別分布状況

|                              |                              |                                |                              |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 個人その他<br>7,272千株<br>(16.85%) | 金融機関<br>13,950千株<br>(32.34%) | その他の法人<br>13,451千株<br>(31.18%) | 外国法人等<br>7,371千株<br>(17.09%) |
|                              | 証券会社<br>222千株(0.52%)         | 自己株式<br>872千株(2.02%)           |                              |

## 大株主（上位10名）

| 株主名  | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 東レ株式会社   | 3,749   | 8.87    |
| THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.                                 | 2,968   | 7.02    |
| 株式会社北國銀行   | 2,113   | 5.00    |
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 2,089   | 4.94    |
| 小松マテーレ松栄会  | 1,585   | 3.75    |
| THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL OMNIBUS SECS LENDING ACCOUNT | 1,284   | 3.03    |
| 日本生命保険相互会社   | 1,284   | 3.03    |
| 株式会社北陸銀行   | 1,263   | 2.98    |
| 三井住友信託銀行株式会社   | 1,230   | 2.90    |
| 株式会社クラレ  | 1,090   | 2.57    |

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで               |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催                          |
| 基準日    | 定時株主総会・期末配当 3月31日<br>中間配当 9月30日 |

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先  
0120-782-031  
URL  
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

1単元の株式の数  
100株  
公告の方法  
電子公告(当社ウェブサイトに掲載)  
<https://www.komatsumatere.co.jp/ir/investor/>  
※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行ないます。

上場証券取引所  
東京証券取引所 市場第一部

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

# 会社情報

役員 2021年6月25日現在

|          |       |     |       |     |       |
|----------|-------|-----|-------|-----|-------|
| 代表取締役会長  | 中山 賢一 | 取締役 | 向 潤一郎 | 監査役 | 橋爪 諭  |
| 代表取締役社長  | 佐々木久衛 | 取締役 | 中村 重之 | 監査役 | 根上 健正 |
| 代表取締役副社長 | 高木 泰治 | 取締役 | 野路 國夫 | 監査役 | 坂下 清司 |
| 専務取締役    | 中山 大輔 | 取締役 | 大西 洋  |     |       |
| 常務取締役    | 松尾 千洋 | 取締役 | 佐々木康次 |     |       |
| 常務取締役    | 小川 直人 |     |       |     |       |

## 【表紙の写真】

新しい時代に必要な情報発信拠点として誕生した「スタジオ・ファーボ」。デジタル配信「ウェビナー」はここから配信しています。開催が難しくなった集客型の展示会に代わって、商品の特長を次々と紹介。自社制作のためコンテンツづくりだけでなく、カメラや照明機材のスタッフも社員が兼務し、回を重ねるごとに内容も充実してきました。

## 会社の概況

|       |                             |       |  |
|-------|-----------------------------|-------|--|
| 商号    | 小松マテーレ株式会社                  | 大阪営業所 | 大阪府大阪市北区梅田2丁目2番22号<br>(ハービスENTオフィスタワー8階) |
| 設立年月日 | 1943年10月8日                  | 東京営業所 | 東京都中央区銀座3丁目10番6号<br>(マルイト銀座第3ビル4階)       |
| 資本金   | 46億8,042万円                  | 北陸営業所 | 石川県能美市浜町ヌ167番地<br>(小松マテーレ株式会社 本社2階)      |
| 本社    | 〒929-0124<br>石川県能美市浜町ヌ167番地 |       |  |
| 本社製造部 | 同上                          |       |  |
| 美川製造部 | 石川県白山市鹿島町1丁目7番地1号           |       |  |

## グループ会社

|                 |           |               |        |
|-----------------|-----------|---------------|--------|
| 小松美特科(蘇州)貿易有限公司 | 中国・江蘇省蘇州市 | インターリンク金沢株式会社 | 石川県金沢市 |
| 株式会社 コマクソン      | 石川県能美市    | 株式会社 セイホウ     | 栃木県足利市 |
| 株式会社コマツインターリンク  | 石川県能美市    |               |        |

# 小松マテーレ株式会社

<https://www.komatsumatere.co.jp/>

